かえる便り 29年度19号

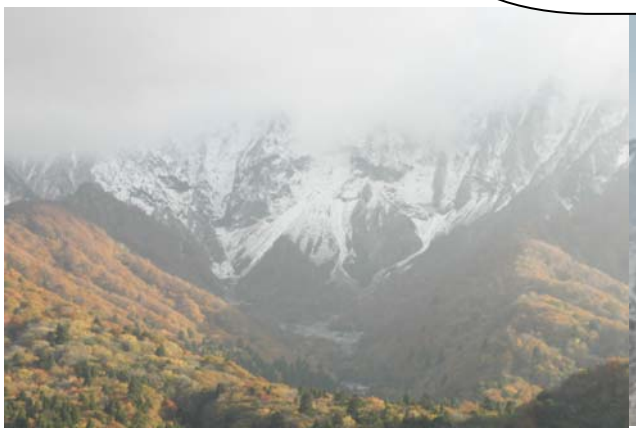
平成２９年８月２７日

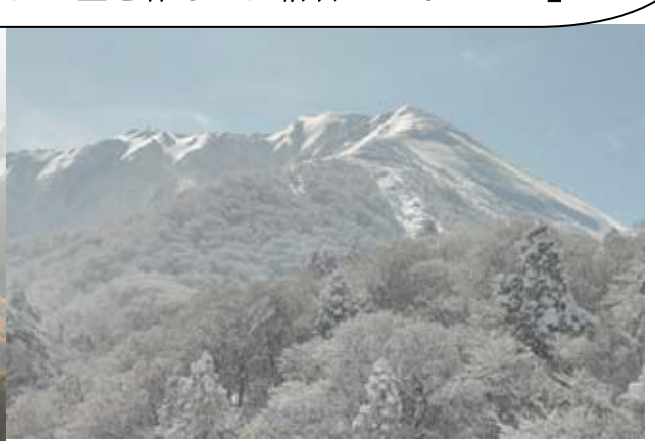
残暑の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

感動を覚えるには、先ず行動することが大切です。人の話しや音楽を聴く、名画を観る、自然に触れる、試合を観るなどの行動を繰り返すことで“感性”が磨かれるのです。話を真剣に聞かない、便りを出しても読まないから、こちらが思うことを推測し行動することが出来ない生徒が増えたように感じています。

何かに感じ動くことが出来るようになるには、素直に人の話に耳を傾けて聞き、よい行動を見習うことを繰り返すことが必要です。つまり、基礎・基本を完全に身につけるまで継続してすることが必要なのです。そうすることで、何が大切か、何故それをしてはいけないのかが分かるようになるのです。基礎基本は単純だから面白味に欠けます。失敗する人は、良いもの（習慣・技術・知識）を身につける前に安易な方に走るのです。自分にとってその方が楽だからです。チームにとっては大変迷惑なのですが…　それを理解していない部員がいることが本当に残念です。力不足でした。

『基本を疎かにする』人は絶対に伸びない。基本の反復がミスを少なくし上達する方法ですが…
ある天才の言葉、『型が出来ない者が芝居をすると型なしになる。メチャクチャだ。型がしっかりした奴がオリジナリティを押し出せば型破りになる。結論を云えば　型を作るには稽古しかないんだ』





時間・場所、季節によって風景は違うから感動も当然違います。同じ日はないよ‼